



◆発行◆
鹿児島県隊友会
◆発行責任者◆
村山文彦
◆印刷◆
(株)新生社
鹿児島市七ツ島
TEL 099-261-0111

全国総会へ参

平成29年度の県隊友会長等会同ならびに定時総会が6月26日に東京・ホテルグランドヒル市ヶ谷で開催されました。定時総会については、すでに新聞「隊友」(7月15日)に掲載されていますので、細部は省略します。

再就職支援」について、県隊友会として、就職希望者の登録・把握を行い、すでに三回にわたる担当者会議を重ねています。

現状として、県内企業への就職希望者が殆どに、近傍県の受賞者や部隊長などが参列し、藤縄会長から、隊友会活動に大きく貢献された方々へ贈呈されました。なお県内会員の表彰状は持ち帰り、私(または支部長)に



全国表彰を受賞された左から、東義雄氏、矢野大二氏、宇田四郎氏

副会長就任



平原誠 2Gp副会長

この度、私は県隊友会の副会長(2Gp所掌)に就任いたしました。微力ながらお役に立てればと思っています。

十年前に海上自衛隊を退職し再就職、親の介護などが一段落しましたので、自分の健康が許す限り貢献していきたいと思っていますので、ご協力、ご

指導をお願い致します。さて、日本周辺の安全保障環境は、北朝鮮の核・ミサイル、中国による尖閣諸島問題等があり、戦後最大の危機が迫ってきているのではないかと感じています。

しかし、先の国会では森友、加計学園の問題の追及ばかりが目につき、我が国の安全は大丈夫かと心配です。今、まさに迫りくる危機に国家として対処しなければなりません。民主国家では国民の理解の上で行動が必要で、その行動の最先端を担うのが自衛隊です。隊友会の目的の一つに国民と自衛隊との懸け橋として、・・・防衛意識

の普及及び高揚に努め」があります。まさに隊友会の事業は、内輪向けのものだけであっては目的を達成できません。広く国民に向かっての発信や活動を通じて国防、自衛隊への理解に繋げていかなくてはならないと思います。

次に、自衛官ファースト」に徹したいと思えます。私が現役時代に支援団体の訪問を受けたことがありました。その代表者は元海将で総監であった方でしたが、集合写真撮影する段になり、敬意を表して元総監を中央にしようとした。しかし、元総監は固辞され、退職して自衛隊を



清掃終了後のさつま支部の会員達

支援する立場になったとしても現役の自衛官を上座に置かなくてはならないとの教えを賜りました。国防の最先端で活躍する自衛官に対して常に敬意を払わなければならないとの意味です。

私は、隊友会の諸行事事業においても、常に自衛官ファーストの物差しで判断、行動していきたいと思っています。最後に、諸先輩方の指導と2Gpの理事の支えさらには会員のご協力を得て与えられた役目をはたして行く所存です。よろしくお願いします。2Gp 副会長 平原誠 記

さつま町内の慰霊塔清掃を平成26年から毎年実施し、今年で4回目となりました。今年度もお盆前のこの頃が草もいっそう生えていて、しかも暑い時に実施すれば遺族会の負担が軽くなると思

い計画しました。例年通り隊友会が8月6日(日)に慰霊塔の清掃を行うことを役場や遺族会に連絡し、徐々に隊友会活動の認知度が高ま

ながら、ボランティアをしていきます。朝夕の生活は、隣り近所住み心地良く、お餅を搗いた煮物を作り、朝早くには玄關に朝取りのナス、トマト、キュウリ他いろいろと届けて下さり季節の味を満喫し元気をいただいています。

東京での40年も自由に活動できましたが、郷里の生活は味が一段と濃いなあと、つくづく感じています。帰省して改めて、知り合いになった方々から御指導いただいたことに感謝します。

望もあり、チェーンソーと鋸による処理を実施した。約1時間半ほどで作業を終了し、遺族会長からは感謝の言葉を頂くとともにお茶の配布を受けた。

最後に春田支部長が、お互いに協力し合ってこの種活動を継続するとともに自衛官募集への協力をお願いし解散となった喜入支部長春田博明 記



清掃参加の喜入支部の有志

開始した4ヶ所の慰霊等清掃は事故も無く12時に終了しました。各慰霊塔清掃後、拝礼し戦没者に哀悼の誠を捧げました。なお、さつま町においては8月末に郷土史研究会による、町内の慰霊塔巡りが行われていて時宜にかなった清掃

が出来たと思料している。さつま支部長 末永 幸里 記

退職後の日々

郡山支部
谷口千代女性部長

平成17年3月、空自職員を定年退職して帰鹿し13年になります。勤務は辛酸、苦業ありましたが、勤務地の上司、友人他たくさんの方々の御力添えで40年の勤務でした。

退職後は、郷里でのんびりと暮らそうと居を構え、兄弟親族友人と気楽なお付き合いをしています。3年過ぎた頃から、再三

支部は、毎年市防災訓練に参加協力しており日頃から市民の役に立ちたいと考えていたところであつたが、やっとこの度締結の運びとなり、今後

は市の災害への協力についてできる範囲で協力し市の発展に貢献したいと考えている。

古川清行支部長 記

防災協定締結

いちき串木野支部

いちき串木野支部は、8月22日、いちき串木野市庁舎にて同市長と災害時の協力に関する協定を締結した。

慰霊塔清掃



調印式に臨む古川支部長(左)といちき串木野市田畑誠一市長

8月5日(土)台風5号の接近する小雨の中、早朝6時から旧喜入町戦没者慰霊塔周辺の清掃を喜入地区遺族会と隊友会喜入支部の共同により実施した。

遺族会は、太平洋戦争戦没者慰霊塔周辺の草払い・清掃を、隊友会はその隣にある招魂塚周辺の倒木処理等を実施した。桜木倒木は、近傍住民の散歩者等から「見苦しい」等、校区公民館への要

求があった。高圧送風機等を持参され草を刈る人・集める人、慰霊塔の砂利敷きの草を抜く人、散乱した枯枝等を集めて焼く人など、それぞれ役割に応じて分担した作業が出来、8時に

高圧送風機等を持参され草を刈る人・集める人、慰霊塔の砂利敷きの草を抜く人、散乱した枯枝等を集めて焼く人など、それぞれ役割に応じて分担した作業が出来、8時に

帰郷線

末筆に、日夜現役で活動して下さっている隊員の皆様に、微力ながらの支援と隊友会会員の皆様

最近のニュースで人生100年の時代が来るというのがあった。資料によれば、2015年の日本人の平均寿命は女性が約87歳で男性が約81歳。今のところ『人生80年』ということになるようだ。▼健康寿命という言葉も最近よく使われる言葉である。平均寿命と健康寿命の間には女性で約13年、男性で約9年の開きがあるというこれも実際問題としては大切なことで、誰もが健康でいきいきとした人生を送りたいと思っ



慰問・激励の三味線演奏中の谷口氏

る。▼自分に置き換えてみると、平均寿命でいえば残りの人生は7年ほどということになる。健康寿命はすでにその年齢を超えてはいるが、現状を加味した場合でも残り二桁ギリギリである。こうなると今後どういう人生を送ったらよいか、なかなか考えがまとまらない▼人生どう生きていくかは20歳代から90歳前後までの幅広い年齢層の隊友会員としては人それぞれである。これからの人生のために共通の認識を持つ会員同士のつながりは大切にしたいものである。そういう意味において隊友会が行うボランティア活動なり親睦行事なりには年に一度は参加する気持ちを持ち、人との交わりを深めていってみたいと思っ

いる。鹿児島地区協議会中央支部長 佐野雅雄 記

シリーズ二
故郷の山里を守る

◎猟師のテリトリー

全国組織で「猟友会」がある。年会費が要る。入らないと狩猟には非常に不利である。まず、一年通して狩猟をするためには「害獣捕獲隊」なるものに、加入しなければならぬ。ここからの自治体の長への推薦がないと「害獣捕獲隊」には入れない。

但し、「捕獲隊」に入らない場合、個人の資格でも猟は一年中できる。しかし、これをするには「一般捕獲」の申請が必要である。申請は、捕獲を希望する期間、地域、市町村合併があった。鹿児島も96あった市町村が現在455になっている。この旧市町村のころの猟友会のテリトリーが、まだ健在である。ある町に



川井田国分支部長

シリーズ一
土佐闘犬の紹介 年人支部

土佐闘犬は知ってはいないが、細部どのようなものか馴染みのない人が多いと思うので、いくつかのジャンルをもって紹介したいと思います。また、闘犬は賭け事をしていてののではないが、多くの金銭が動いているのではないが、等々誤解を受けている部分がある



筆者 原田一信氏

東郷平八郎記念日式典開

6月4日(日)、三反園知事、公益財団法人水交会齋藤理事長等の参加のもと自衛隊の全幅支援

実家がありやそこに私の親の田畑があってもその町に居住していないと猟はできない。霧島市長の命じた「捕獲隊員」でもその狩猟の資格は市内全域には及ばないのである

例えば、国分に居住する「捕獲隊員」は、実家の田畑が霧島市横川町にある場合でも、横川町では狩猟はできないのである。なぜか、報償の関係からである。うちのシマで狩猟するな」というわけである。

合併になって隼人・国分に住居を変える人が増えてきている。その人達が実家での狩猟をするには、ひと月毎に申請を出して許可を貰い狩猟するのである。これでは真剣に害獣駆除したい有能な人材を失う。是非、改正してほしいシステムである。

川井田国分支部長 記

これが初代、紅隼人魂として、九州八県大会・全国大会で連勝するなどし、土佐闘犬にのめり込むきっかけとなっていました。



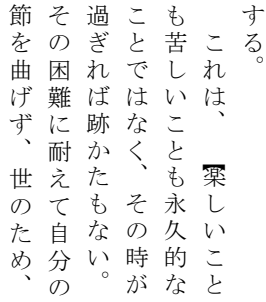
国旗、軍艦旗の掲揚

シリーズ八
「平田靱負翁」について思う 年人支部長 石神民男氏

今回から四回にわたり宝暦治水工事に関する平田総奉行の考え及びその背景について、考察してみたいと思います。

一 平田靱負の度量について背景となったもの(一) 朱子学の影響

朱子学は、仁・義・礼・智・信の徳目を常に心に掛け、身につけさせる等武士道の精神的支柱となり、薩摩では、桂庵玄樹(禅師)(一四二七年〜一五〇八年)の学風が薩摩士風の基礎となった。また、薩摩藩は、島津中興の祖と言われる島津



薩摩義士を祀って

隊が奏でる「君が代」に併せて、参列者全員の国歌斉唱、国旗は小学生5人が総がかりで、軍艦旗は白い礼装服の自衛隊鹿児島地本の海上自衛官が掲揚、次いで、儀仗隊を率いた中村敏弘第一航空群司令による海上自衛隊参拝、来賓紹介、代表挨拶、県知事、保岡・宮路・尾辻国会議員、式典実行委員長 かもめ会・鹿児島水交会会長立元四郎)が式辞を述べ、佐世保音楽隊の「慰安する」演奏のもと、東郷家ゆかりの方々、政財界、防衛協力諸団体等の方々が墓前に献花された。

後半は、祝電・祝詞の披露、日本海海戦の歌を全員で合唱し、東郷元帥も生涯、励んだといわれる自願流の演武を小学生を含む15人が豪快に実施した。続いて、待ちかねた佐世保音楽隊墓前演奏は、海軍・東郷元帥に因んだ曲目が力強く演奏され、軽快な楽しい曲も交え従来に増して深い感動を覚えるとともに、元帥の偉業を偲ぶものとなった。

最後に、鹿児島水交会会長のお礼挨拶、国旗・軍艦旗の降下で終了した式典後、長らく途絶えていた昼食会を復活するとともに、公益財団法人水交会齋藤理事長の講演

訓練激励

伊佐市での自衛隊の生地訓練は、記録にないほど遠い昔のことである。自衛隊の災害派遣に直接影響を与える災害地誌情報の収集を主たる目的に、伊佐市を警備隊区とする「2普連重迫中隊」の中隊長以下40人が来訪した。

30度を超える気温の中、7月10日から12日の3日間、熊本県との境界付近の山地と市街地の平野部における隊区機動訓練を実施した。この間、市内の主要道路の他活動拠点等の候補地を現地で確認、また訓練間に市職員を含む市民との交流を得て、貴重な訓練となった。この種訓練の実施には、偵察時の現地案内、自治体との調整、活動拠点(施設)の

これは、楽しいことも苦しいことも永久的なことではなく、その時が過ぎれば跡かたもない。その困難に耐えて自分の節を曲げず、世のため、

忠良(日新)公(一四九二年〜一五六八年)が、著した「いろは歌」を教典とし朱子学(行動哲学)の普及と相まって薩摩士風を更に強固なものとした。

ここで、「いろは歌」について、文献では「禪仏の三教に通じ、領内の家臣団の指導と教育の充実を図るため、その意義を理解しやすいように、覚えやすいように、いろは四八の順に読み込んだもので郷中教育など精神修養の教典としたものである。」と説いている。

いろいろ四八首のうち、最も平田靱負の考え方に近いものは、栗も苦も時過ぎぬれば跡もなし、世に残る名をただ思ふべし」の句であろうと推察する。

小川さん(略歴は、昭和17年陸軍航空学校入校。その後、昭和19年末に第4航空群「ツングポール」)、20年3月に第61飛行中隊と、飛行機乗りとして活躍。8月に終戦。昭和25年8月に警察予備隊入隊。その後第12普連 都城、国分、第28普連 函館(、第17普連 山口)第12普連等で勤務し、昭和51年に定年退職。その後、県土木事務所や地域振興公社に勤務。昭和54年に隊友会に入会。始良支部長も歴任された。剣道三段、銃剣道四段。今は弓道練士六段として、日々後輩の指導に当たられている。小川さんのモットーは「誠実・不撓不屈」。旧陸軍や自衛隊等で良き上司、先輩、同僚等に恵まれ、今でも誇りと心の支えになっているとか。



始良支部 小川瀬津夫氏

小川瀬津夫さんは大正15年虎年生まれ91歳。隊友会始良支部のグラウンドゴルフ同好会の会員である。打ったボールの位置めがけて疾走する姿は、とても満91歳のご老人には見えない。

私達支部会員は、穏やかでナイスハートの小川さんが、是非百歳まで元気にGゴルフを続けられることを願っている。支部相談役 藤井孝良記



激励・懇親を深めたバーベキュー

読んで
ご冥福を

- ◆瀬戸内支部 義永 秀親
- ◆川井 裕
- ◆国分支部 田久見 信義
- ◆志布志支部 長野 光良
- ◆吉岡 三男
- ◆伊集院支部 石神 重将
- ◆鹿児島地協 福永 照光
- ◆薩摩川内駐 今川 昌彦

筆者 岩切康氏

清掃終了後の記念撮影

自衛隊みなと祭りを支援

下甕島分屯基地は7月22日に鹿児島県本主催の、第12回自衛隊みなと祭りに参加し、長浜出羽踊りを披露しました。長浜出羽踊りとは、串木野西方約50kmの沖合にある下甕島の長浜地区に昔から伝わる男子6人から12人の偶数人で踊



拍手喝采を受けた出羽踊り連

富士登山 駅伝に参

現在、陸自を取り巻く環境は年々厳しさを増すばかりとなっています。昨今、陸自に所属する

陸上部等も縮小の一途をたどり、実業団チームでさえも結果を残さないと廃部を余儀なくされる時代となり、我々国分自衛隊陸上部もどうかして

は今年で42回目を迎え、合計131(一般94、自衛隊37)チームが参加し、静岡県御殿場駅をスタート、富士山頂(御殿場口)を折り返し、御殿場陸上競技場のゴールの1区間、47.93km標高差3258mと往路・復路とも同じ選手が走



第3位の成績を収めた国分駐屯地陸上部の選手たち

る伝統芸能で、下甕島分屯基地では平成5年頃から地元の出羽踊り保存会の指導を受け継承しています。

隊員13人が前日にフエリーとマイクロバスで移動し、みなと祭りの会場である鹿児島北埠頭にいて舞台と音響確認等の準備を実施しました。

本番当日は、衣装の着付けと化粧に最低2時間は必要な為、午前9時に会場入りし準備を整え、出演者全員での記念撮影の後、13時30分に本番となりました。

炎天下での披露となりましたが、長浜出羽踊りの赤や紫の派手な衣装と歌舞伎役者のような化粧烏帽子や手甲脚絆を着けた出立に、中腰で踊る独

る、世界に類の無い過酷な山岳駅伝です。

また近年では、師団持続走競技会や武装走競技会が激減し、全国の自衛隊を挙げて参加する大会は、この富士登山駅伝大会が自衛隊主要大会と言

っても過言ではありません。我々国分自衛隊陸上部も、昨年6位と辛くて悔しい思いをし、今年も

優勝を目標に、クロスカントリー、マラソンスピード練習等多様な練習や大会に参加し、1年間頑張り本大会に臨みました。

特の舞に、大勢の来場者は魅了され、気合が入った隊員の素晴らしい踊りに、一層大きな拍手が巻き起こりました。

自衛隊みなと祭りに来場された方の中には、過去に下甕島に住まれていた方もおり、私も長浜小学校在校中に踊っていた。という若い女性や、年配の方から懐かしい踊りを拝見しました。といった声を掛け

ていただき、参加した隊員達は、無事終えた達成感と満足感を胸に、会場を後にしました。

下甕島分屯基地 広報係 池田優士 空曹長 記

自衛隊勤務を振り返る

昭和57年3月、私は期待と不安を胸に海上自衛隊に入隊しました。

入隊当初、団体での行動や生活が苦手であったため、自衛隊生活が肌に合わず、また職種がそれ

まで全く知識のない航空電子整備であったこともあり、辞めたいと思ったことが何度もありました。それでもここまで脱落せず勤務する事ができたのは、振り返ってみると一つに、常に自分の目標を定めてきたことがあげられます。



鹿屋 木屋尾 准海尉

なるまで頑張る。一、それを達成後、次の目標は新しく導入される機材の基幹要員として運用が軌道に乗るまで頑張る。二、それを達成後また次の目標を設定するという。目標設定の継続を、実行していったことです。

二つ目に、周りの人に恵まれていたことです。困難な問題に直面した時その解決には、相当の時間と努力が必要となりました。そのような時、上司や先輩、そして同期と助け舟を出してくれる。これが私の目標達成のための努力こそが社会の荒波を乗り越える力を与えてくれることと私は信じます。鹿屋航空基地1空群司令部 整備班 准海尉 木屋尾 富雄 記

趣味の空手に夢中

川内駐屯地8施大 石田尾明日香3曹

私の趣味は空手です。5歳の時に親の勧めで道場入門し、現在まで約18年間続けています。

始めたころはきつく厳しい稽古が嫌で泣き練習していませんでした。特に真冬の稽古は本当に嫌いでした。しかし少しずつ武道の魅力に引き込まれていきました。

私が思う武道の魅力は三つあります。まず一つ目は、礼に始まり礼に終わる。ということ。武道はスポーツの中



川内 石田尾 3曹

でも特に礼儀を重んじており、常に礼に始まり礼に終わります。

私の道場では対戦相手や審判をはじめ大会を支えてくれる人、そして自分を支えてくれる家族がいないと、試合はできない。この場所に立てていることに感謝をして試合に臨め、と教えられました。

二つ目の魅力は老若男女関係なく楽しめるスポーツだということです。実際に3歳から65歳までの方々と一緒に練習をしています。空手をきっかけに様々な交流が生まれ、コミュニケーション能力の向上にも繋がります。また、生涯を通じて続けていくことができます。

三つ目の魅力として自分の身を自分で守る力がつくという事です。護身の一つとして空手を習っています。

盛況な納涼大会

8月20日桜島を望むホテル福丸ビアホールにて、鹿児島地区協議会納涼大会が行われた。猛暑の中、参議院議員宇都隆史夫妻の他、2組の夫妻そして女性会員等4人の計44人が参加した。



盛りあがる納涼大会

宇都議員は、参議院外防衛委員長で超多忙の間に盛り上がった。中央支部から新会員の川崎明美さん、野元澄夫さんが参加し、今後の活動について激励した。

鹿屋 南支部長 小原憲一 記

国分駐就職支援 護会同を支援

鹿児島地本 国分駐護センター

自衛隊鹿児島地本国分駐護センターは、7月5日(水)、国分駐屯地で

行われた平成29年度第2回駐屯地援護担当者会

同教育を支援しました。本教育は、国分駐屯地

内の援護担当者30人に

対する教育であり、最新の雇用情勢や県内の職業

別求人状況及び7月11日に実施された平成29年度鹿児島県任期制隊員等合同企業説明会」の統制事項や面談要領に係る、情報も提供をする



国分駐援護会同の様子

とも、併せて平成29年6月から変更された再就職規制の新たな規則について紹介し、その周知徹底を図りました。

また、第1回陸士就職補導教育で実施した教育状況を紹介し、求人票の見方や就職に有利となる資格及び免許の早期取得の推奨と、就職援護に必要な提出書類等の記載要領や提出時期等について各部隊援護担当者の理解と協力を依頼しました。

更に、定年制及び任期制の退職予定隊員の現在までの就職援護状況について情報を提供し、順調に再就職活動が進行していることを、中隊長等に報告し、理解を得ました。

国分駐護センターは今後も駐屯地援護担当者と緊密に連携し就職援護に関する最新の情報提供及び情報共有を行い、退職予定隊員が安心して再就職ができるよう努力していきます。

国分駐屯地 援護室長 福丸竜子 記

遺言・相続

交通事故

企業法務

借金

★他、不動産取引、民事・家事一般、刑事

5分間 無料電話 Q&A

その悩みを電話で話してみませんか?弁護士が解決できるかもしれません。※取扱い防止の為、お名前・電話番号をお尋ねします。

法律相談 30分あたり 5,000円(税別) 予約制

交通事故相談は初回無料(物損のみは除く)

なかま法律事務所

加治屋町電停・バス停より徒歩4分

鹿児島市加治屋町 15-20

099-216-8788

■営業時間/9:00~18:00 ■休業日/土・日・祝日

HP 検索 なかま法律事務所 鹿児島

弁護士 中岡貴志 鹿児島県弁護士会会員

弁護士 竹井一真 鹿児島県弁護士会会員

高見馬場 天文館 鹿児島銀行 高見馬場南 甲東中学校前電停

高見馬場電停 高見馬場電停 大同生命

西千石町 GS 鹿児島中央高等学校 新ふるさと館入口

加治屋町電停 加治屋町電停 中央駅

同窓会(宿泊・二次会付)・1歳餅ふみ 七五三・成人祝 承り中

ホテル福丸

市役所前みなと大通り公園沿

TEL:099-226-3211

http://www.hotel-fukumaru.com

アクアガーデン

ホテル福丸

市役所前みなと大通り公園沿

TEL:099-226-3211

http://www.hotel-fukumaru.com